

# JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

エントリー番号	(当会で記入致します)
氏名*	稲葉 悠
フリガナ*	イナバ ヒサシ

活動内容* (200文字以内)	県産サメの皮を利活用したサメ革ブランド「RYUKYU SHARK」の商品を開発。財布や名刺入れなどを製造。県の新産業としての定着を目指し、稲葉悠代表は「海洋保全への取り組みにもつながると考えている。サメ革製品を新たな産業に成長させたい」と支援を呼び掛けている。県内では、年間千頭のサメが捕獲されるが、フカヒレなど一部分を食用として利用し、それ以外の部分は廃棄対象となっている。
活動カテゴリー*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他( )
紹介者氏名 紹介者がある方は記入	池宮 拓治
紹介者所属団体	うるま青年会議所

<p>JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*</p>	<p>青年会議所会員からの推薦（青年会議所）・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア （ ）・その他（ ）</p>
<p>紹介理由 （200 文字以内） ※紹介者がいる方は 記載をお願い致します。</p>	<p>沖縄県の漁業や観光産業の観点からサメによる被害を防ぐために年間1000頭以上が駆除されていますが、ほとんどの部位が廃棄の対象であり、害獣と言えど責任を持って活用するのも人間の役割と捉え、サメの皮に付加価値を見い出し、沖縄県の新たな産業への発展を目指す姿に感銘を受けました。</p>

■PR活動（全200文字以内厳守）

<p>顔写真*</p>	<p>(写真貼り付け)</p> 
<p>経歴 （200 文字以内）</p>	<p>【稲葉悠(ひさし)について】 沖縄県在住のフリーランサーで元ダイビングインストラクター。沖縄県内では漁業被害軽減のために年間で1000匹以上のサメが駆除されていることを知り、その大部分は処分されていることに心を痛める。以来、処分されるサメの活用方法を模索し、革製品の製造開発に着手。現在は RYUKYU SHARK のブランドを立ち上げ国内外への展開を視野に入れ精力的に活動中。</p>

<p>活動PR1* (200 文字以内)</p>	<p>県内で駆除されるサメは、イタチザメ・メジロザメ・シュモクザメ・ホホジロザメ・ネコザメ・レモンザメなど多岐にわたります。 これらは世界的に見ても希少価値が高いにも関わらず、国内での生産事例や国産として流通している商品はほとんどありません。 そこで、駆除されたサメを沖縄県産のサメ革として付加価値を付けることで新たな産業として成り立つ可能性を秘めていると考え活動をしている。</p>
<p>活動PR2* (200 文字以内)</p>	<p>駆除されたサメの革は、沖縄県北谷町のレザーショップ Leather &amp; Wood U.A.STORE にて丹精を込めて一つ一つ手作業で生産しています。 Leather &amp; Wood U.A.STORE の友利代表は、沖縄県内で古くから革職人として数多くの商品を製造している熟練者なので、縫製技術や製造品質はトップレベルです。 国内では流通量の少ないサメ革ですが、ここではその扱いにも長けているため、出来上がった商品の品質には文句のつけようがありません。</p>
<p>活動PR3 (200 文字以内)</p>	<p>県産サメの皮を利活用した商品開発に取り組む、サメ革ブランド「RYUKYU SHARK」は財布や名刺入れなどを製造。ざらざらとした質感に一点一点模様が異なるオリジナルティーあふれる商品が出来上がり、県の新産業としての定着を目指し、サメ駆除の援助や商品開発費などをクラウドファンディングで募っている。稲葉悠代表は「海洋保全への取り組みにもつながると考えている。サメ革製品を新たな産業に成長させたい」と支援を呼び掛けている。</p>
<p>SDGsのゴールと ターゲット番号及び 結びつきの説明 ※SDGsの取り組みを している方は記載をお願い 致します。</p>	<p>番号の記入( 14 ) ( 海の豊かさを守ろう ) 説明(駆除された命あるサメを、駆除した人間は敬意をもって有効に活用する責任があります。 これを継続することは、漁業・観光などの面で良い影響を与えることが出来ると確信しております。 駆除されたサメを沖縄県産のサメ革製品として生まれ変わらせ、国内外に広く伝えていく事により近い将来に新たな産業へと成長させたいという強い思いをもって取り組んでおります。 RYUKYU SHARK が目指す産業が成長することは、漁業者からは無価値と捉えられているサメに付加価値を生み出すことに繋がり、漁業の面においても間違いなく良い影響を与えるでしょう。 )</p>

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200 文字以内)</p>	<p><a href="#">活動を始めたきっかけを教えてください</a> 沖縄県では、サメ被害から漁業収益を守るために定期的にサメの駆除が実施されていることを知ったが、駆除されたサメには価値が無いとされているため、無駄に焼却処分されている現状に心を痛めました。もしサメに付加価値を見出すことが出来れば、廃棄する事なく一つの産業として成り立つのではないかと考</p>
----------------------------	---

	えたのがきっかけです。
質問2* (200文字以内)	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>RYUKYUSHARKの活動を沖縄県の新たな産業にしたいと考えています。現在は、公的補助金を使って各漁協がサメ駆除を実施していますが、サメ革製品から収益を得ることが出来れば補助金に頼ることなくサメを漁獲することが出来ます。害獣扱いされていたサメに価値が生まれることで、今まで悩まされていた漁業被害の抑制にもつながります。</p>
質問3* (200文字以内)	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>駆除されたサメ皮を使った魅力的な革製品を生産しています。一方で、製品を多くの人に買って頂くためにはRYUKYUSHARKの活動を広く世間の方々に認知してもらう必要があります。そのために、クラウドファンディングを実施して活動資金の支援を募っています。 <a href="https://yuima-okinawa.jp/project/detail/547">https://yuima-okinawa.jp/project/detail/547</a></p>
質問4* (200文字以内)	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>無駄に処分されていたサメに付加価値を見出すことで、サメによる漁業被害を抑制すると同時にサメ革をRYUKYUSHARKとしてブランディングし、新たな産業へと育てることで沖縄県の経済に貢献することが出来ます。また、製品化する過程で、県内の優秀な若手クリエイターを発掘してメイドイン沖縄のモノづくりを活性化していきます。</p>
質問5 (200文字以内)	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>人・モノを適材適所で配置して、自らが率先して行動することがリーダーシップであると考えます。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

ブロック名*	沖縄ブロック協議会
青年会議所名*	うるま青年会議所
担当役職*	規則財政局長
担当者氏名*	池宮拓治
フリガナ*	イケミヤ タクジ

推薦理由\*

(200 文字以内)

沖縄県の漁業や観光産業の観点からサメによる被害を防ぐために年間1000頭以上が駆除されていますが、ほとんどの部位が廃棄の対象であり、害獣と言えど責任を持って活用するのも人間の役割と捉え、サメの皮に付加価値を見出し、沖縄県の新たな産業への発展を目指す姿に感銘を受けました。